

鉄道ピクトリアル

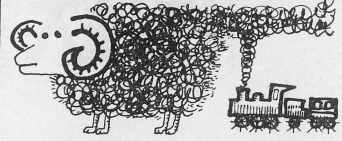
1967年1月号(新年特大号) Vo.17 No.1

表紙 錦絵「新橋汐留ステーション」(広重画)……………高松吉太郎 所蔵
 カラー頁 「昭和の開拓使号」(ED75501)……………三菱電機 提供
 グラフ

新春の話題…「祝」のついた試運転……………札幌局提供…11
 あずさ号試運転……………交通新聞提供…11
 ソ連鉄道昨今……………ノーボスチ通信社提供…12
 大阪市電…よき時代を顧みて……………大阪市交通局・高松吉太郎…14
 王子のとでん……………高松吉太郎…16
 130年前の鉄道……………上西 薫…18
 冬の装い<第11回鉄道写真コンクール入選作品>
 冬景色……………二木謙一郎…43
 雪の日の札幌市電……………中間 敬夫…44
 雪の朝……………長谷川英紀…45
 峠を行く……………武田 安敏…46
 雪の晴間……………玉木 正之…47
 北海道の電車……………長谷川英紀…48
 たそがれどき(第10回鉄道写真コンクール作品)……………奥野 和弘…49
 雪の機関区……………田中 正之…50
 雪煙・吹雪の急こう配……………庄野鉄司・早川昭文…51
 欧州の第一線に活躍する機関車シリーズ(1)
 「BRディーゼル機関車」……………峰岸 彰…52
 鹿兒島の印象<第10回鉄道写真コンクール作品>(解説89頁)
 ………………本木 敷…54
 木曾の林鉄近情……………柳江 耕二…56
 江若鉄道 [1] 内燃機関車 [2] 機関車・客貨車…竹内龍三・藤井信夫…58
 第二の職場ではたらく元阪神電鉄小型車……………藤井 信夫…62
 わだいのくるま(167) ED75501 形交流機関車……………国有鉄道提供…64
 歴史をきざんだ'66年の国鉄新車……………編集部…66
 トビックフォト(関東、中部・北陸、中国・関西、東北・上信越だより)
 ………………91

記 事
 今月の話題・道内国鉄に電化の先駆……………3
 国鉄、10年後のビジョン……………加賀山朝雄…4
 陸蒸汽前後…明治以前の鉄道をめぐる欧米資本主義の動き……………
 ………………小熊 米雄…8
 130年前の鉄道……………上西 薫…11
 ソ連邦に旅して……………石田 靖一…20
 大阪市電の廃止と対策……………赤松 義夫…23
 王子のとでん……………高松吉太郎…28
 欧州の第一線級機関車 [1]……………峰岸 彰…31
 書評②「通勤革命」(角本良平著)……………和久田康雄…34
 私鉄高速電車発達史 [13]……………中川 浩一…35
 資料・日本の私鉄 [9]……………和久田康雄…39
 鉄道事始のはなし [8]「蒸気機関車動輪型徽章のはじめ」……………
 ………………浦川 耿介…67
 40年度国鉄営業係数(質問に答える)……………岩井 一…68
 私鉄車両めぐり [70] 江若鉄道……………竹内 龍三…70
 ディーゼル化した木曾の林鉄……………柳江 耕二…78
 他私鉄ではたらく阪神電鉄の小型車……………藤井 信夫…80
 41年度国鉄新製車番号表……………国鉄工作局車両課…84
 車両の動き……………86
 鉄道の話題・11月のメモ帳……………89, 90
 読者短信……………99
 TTK だより・後部車から……………102
 '66年度鉄道ピクトリアル主要総目次……………88

今月の話題



カット 土屋 昭雄画

道内国鉄に電化の先駆

函館本線小樽一旭川間 181.9 キロの電化工事は、40・41年合せて13億円(うち3億円は利用債)の工費を投入して、手稲一銭函間の試験線区7.6キロと、電車基地となる札幌運転区を中心に工事をいそいでいたが、11月10日には試験線区の工事が完了、同15日には、待望の電気機関車 ED75 形が、北海道の鉄道史に新しい時代をつくる初試運転が実施された。まさに「電化のパイオニア」である。

試運転列車の編成は、ED75S(501)を先頭に、D51を介添役として、セキなど荷重車両で600tをけん引、晴れあがった初冬の石狩平野を所定速度(65キロ)で走行、架線・パンタグラフの状態や電気機関車各機器の低温における運転状況などが見守られたが、道内初めての電気機関車の入線試験は上首尾のうちに終了した。同機関車は、このあと17日に性能試験のため一旦仙鉄福島機関区に回送され、12月2日に再び札幌運転区に戻り、3日から本格的な耐寒・耐雪テストに入り、試験線区を1日6往復することになっている。

北海道向け ED75 は 75S 形と呼ばれ、先に支線区用として試作した ED931 に次いで、サイリスタ機関車の第2陣として誕生したのがこの ED75501 で、いわば本線用サイリスタ機の第1号機である(別掲、わだいのくるま参照)。耐雪・耐寒構造としては①パンタグラフ各部にカバーやヒーターを取付②車側エアフィルタ負圧検知装置にエアピストルや温水循環を用い③高圧機器ワクを閉イ戸でおおうなど、ヒーターをふんだんに使用しているのが特徴である。

〔表紙〕錦絵 東京真景図会「新橋汐留ステーション」(第三代広重画)

高松吉太郎 所蔵

〔カラー頁〕「昭和の開拓使号」

三菱電機 提供

ED75501 [札テク] 三菱重工業三

原製作所にて '66-9-15

マミヤプレスマミヤセコールF3.5 絞り16

タイム1/30 フジカラー-N-1006×9

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
 Zenkoku Tabako Bldg. Shibakōen
 7-8, Minatoku, Tōkyō/Japan